

主催：同志社大学一神教学際研究センター（CISMOR）

共催：同志社大学神学部・神学研究科

「神を観ることについて」 (仮題)

On Seeing God

【講師】 オマーン・スルターン国 国立スルターン・カーブース王立大学
教育学部イスラーム法学学科長・准教授

スレイマン・ビン・アリー・ビン・アミール・アッシュエリー博士

Sultan Qaboos University, College of Education, Islamic Sciences Department

Dr. Sulaiman bin Ali bin Amir ALShueil

本課題は、従来、中世の歴史的な神学論争の中で研究されてきた。日本では文献研究、イスラーム哲学の立場から主に論じられてきたが、イスラーム本来の伝統学の三つである信仰学、法学、倫理学の分野のうち「信仰学（アキータ）」の課題である。オマーンのイバード派にとっては教義の根幹で、現在もなお精緻な神学的考察が行われている。同時にこの課題は一神教、および仏教など来世の問題と共通性があり、今後日本で多くの学術的交流が期待できる分野である。



日時：2016年5月12日（木）16:40-18:15

会場：同志社大学今出川キャンパス 神学館チャペル

※京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車3番出口徒歩3分

お問い合わせ

同志社大学 一神教学際研究センター
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 075-251-3726 / E-mail info@cismor.jp

使用言語
アラビア語・英語
(通訳有)
入場無料
事前申込不要